

岡山県畜産協会第9回定時総会の概要

社団法人岡山県畜産協会 総務部

去る6月15日、岡山県農業会館別館大会議室において第9回定時総会を開催しました。冒頭、本松允之会長から東日本大震災へのお悔やみとお見舞いを申し上げ、口蹄疫や猛暑で厳しかった一年をふり返りながらも「この先も厳しい情勢に変わらないが、食料生産、国土や環境の保全など農業・農村が担う役割の一角に、畜産が確実に位置づけられるよう、これまでの成果に工夫も加えて県内畜産の振興発展に向け邁進したい」と決意を述べました。岡山県議会河本勉議長、中国四国農政局浅沼達也畜産課長から来賓ご祝辞を頂いた後、JAつやま最上組合長を議長に議案審議が行われました。

全て提出原案のとおり議決された中、主な内容は次のとおりです。

1 事業及び決算等の状況

概ね計画に沿った事業及び予算執行が出来ており、新年度計画では国の政策転換による混乱が生産現場に生じないように努めると共に、発症や蔓延で甚大な被害が想定される疾病へのワクチン支援など新たな独自事業の開始を掲げました。

2 法人制度改革に伴う法人移行等

全ての公益法人は、平成25年11月までに公益社団もしくは一般社団いずれかの法人資格を得なければなりません。本協会では、新組織検討委員会の検討結果も踏まえ「設立目的に沿って県内畜産の振興発展に寄与するには、公益・収益の事業比率に縛られることなく、適時・適切な必要事業が自在に展開できる姿が望ましい。但し、国県など公的機関と強く連携した組織であり、引き続き公益事業には積極的に取り組むこととする」と、非営利型の一般社団法人に移行することとなりました。この決定を受けて新制度に適切すべく、定款の改正も行われました。

3 役員の変更

任期満了に伴う役員改選が行われ、生産現場を見据えた支援組織づくりを唱えて長年ご奮闘いただいた本松允之会長がこのたび退任されました。改正された定款や理事会での代理議決を認めない新たな法人制度など踏まえて選任された役員及びその体制は次のとおりです。

役職	氏名	所属・役職
名誉顧問	池田 隆 政	岡山県養鶏協会 会長
顧 問	本松 允 之	学識経験者
代理理事長	樋口 義 男	員外役員（常勤）
副 会 長	千葉 靖 代	おかやま酪農業協同組合 代表理事組合長
理 事 長	村上 進 通	岡山県農業協同組合中央会 会長
理 事	岩本 浩	全国農業協同組合連合会県本部運営委員会 会長
理 事	杉山 誠 一	岡山県農業信用基金協会 専務理事
理 事	二摩 紀 昭	阿新農業協同組合 代表理事組合長
理 事	金井 克 己	鳥城養鶏農業協同組合 参事
理 事	高田 勉	(社)岡山県配合飼料価格安定基金協会 理事長
理 事	三宅 忠 篤	(社)岡山県獣医師会 会長
理 事	山上 恭 宏	岡山県ふ卵協会 会長
理 事	橋本 豪 介	岡山県市長会 事務局長
理 事	釜瀬 司	岡山県町村会 事務局長
理 事	斉木 孝	岡山県農林水産部畜産課 課長
監 事	白石 康 彦	全国農業協同組合連合会岡山県本部 本部長
監 事	仁科 健 司	岡山県農業共済組合連合会 参事